大臨技ニュース

〒545-0051
大阪市阿倍野区旭町1-1-28ニチマンビル
TEL.06-6647-3454　FAX.06-6644-1128
社団法人　大阪府臨床検査技師会
発行責任者：森嶋　祥之
大臨技ホームページＵＲＬ
http://www.osaka-amt.or.jp/

お　知　ら　せ

第22回　中央支部自由集会

日本の医療は大きな変革期の真っ只中にあり、
少子高齢化や、IT技術の発達を反映し、医療制度改革や施設の統廃合、
診療情報の電子化など、かつて経験したことのない大きな変化に晒されています。
こんな中、私たち臨床検査技師がどのような役割を担っていかなければならないのか、
時代の変化に取り残されないよう、日本臨床検査技師会副会長の立場から「未来への提言」と題し、
朝山均先生の基調講演を企画いたしました。
第２部では北支部、中央支部、南支部の支部長の３名がワークショップでの討論会を行った後、
皆様と一緒に活発な討論が出来ればと考えております。
多数の会員技師の皆様のご出席をお待ちしております。

日　時：平成20年２月２日（土）
　　15：00～17：00
　　（14：30受付開始）
場　所：あべのメディックス ６階ホール
評価点：A－10点
　　（会員証をお持ちください）
参加費：会員 500円、非会員 3,000円
連絡先：小阪産病院 情報企画課　栗本 幸司
　　TEL：06-6722-4771
　　E-mail：kuri@kosaka.or.jp

評価点＝日臨技生涯教育点数

内　容

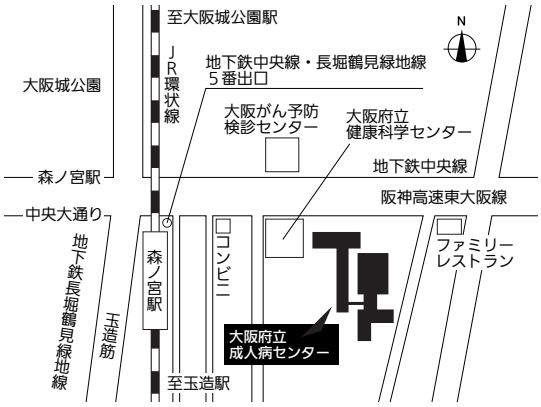
15：00～16：00
１部：特別講演会「臨床検査技師の未来への提言」
　講　師：日本臨床検査技師会 副会長　朝山 均
　司　会：中央支部副支部長 南大阪病院　桑山 和哉

16：00～16：30
２部：パネルディスカッション「これからの臨床検査技師の役割あれこれ」
　パネリスト：北 支 部 長　国立循環器病センター　米田 孝司
　　南 支 部 長　近畿大学医学部附属病院　中江 健市
　　中央支部長　竹村医学研究会小阪産病院　栗本 幸司
　司　会：大臨技地区事業担当理事 育和会記念病院　田畑 泰弘

第２４回　技　師　長　会

今回は医療関連産業各方面において多数のご講演や執筆でご活躍されている渡辺英克先生をお招きし、
今後の検査室運営のあり方についてご講演していただく予定です。
普段得難い貴重な情報が満載かと思われます。ぜひ多くの方々のご参加をお待ちしています。

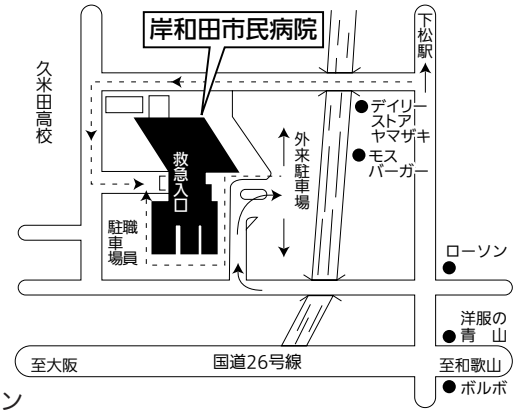
日　時：平成20年２月16日（土）15：00～17：00
場　所：大阪府立成人病センター 本館６階講堂
テーマ：「医療の将来性を考える」
挨　拶：大阪府臨床検査技師会 会長　森嶋 祥之
内　容：「医療制度改革の方向性と今後の検査室運営について」
講　師：みずほ証券株式会社 エクイティ調査部 シニアアナリスト
　　渡辺 英克
参加費：会員 1,000円、非会員 3,000円
連絡先：大阪府立成人病センター 臨床検査科　井戸田 篤
　　TEL：06-6972-1181（内線 3411）



第22回 大臨技南支部自由集会

平成20年！ついに平成生まれの子供達が成人式を迎える時代になり、１～２年もすると平成生まれの検査技師が誕生です。４月からは今までの健診とは違った新しい健診制度が施行され、「臨床検査科の標榜が可能」となる新たな医療制度改革や診療報酬改定も実施されます。今回の南支部自由集会では「2005年医療制度改革大綱」を踏まえた、生活習慣病予防の徹底を図るための新たな健診制度「特定健診・特定保健指導」について、基本的な内容から勉強したいと考えております。また、新たな健診制度ではこれまで以上に“検査データの質”が求められます。日臨技・大臨技が取り組んでいる「データ共有化事業」は質向上の大きな柱の一つとなります。この事業についても基本的な内容と大臨技の今後の方向性をお話しして頂く予定です。今後、国民の検査への関心・注目度は一層高まっていくと思われます。良質なデータ提供、新たな制度改革に向けて、今何が必要なのか？一緒に勉強し考えてみませんか？会員の皆様、企業の皆様、多数の参加をお待ちしております。

日　時：平成20年２月27日（水）18：30～20：30
場　所：市立岸和田市民病院 ３階講堂
　　岸和田市額原２
　　会場担当：杉山 昌晃　TEL：072－445－1000（内線 232）
　　JR阪和線、下松駅（各停）下車、徒歩約７分
　　診療終了後ですのでお車でのご来場も可能です。
　　（但し駐車場は有料です）



テーマ：「検査技師に必要な医療制度改革とデータ共有化事業の基礎知識」
内　容：１．「知ってて絶対損しない医療制度改革・診療報酬改定のポイント」
　　－特定健診、診療報酬改定、臨床検査科の標榜を中心に－
　　講師：デイドベーリング株式会社 ヘルスケアソリューション
　　グループ マネージャー　松尾 久昭
　　２．「データ共有化事業の基礎知識、共有化って何ですか？」
　　－大阪府におけるデータ共有化事業の現状と今後の展望－
　　講師：松下記念病院 中央臨床検査部　中島 康仁
評価点：A－10点（会員証をお持ちください）
参加費：会員 500円、非会員 3,000円

第17回 南支部懇親会（29の会）のご案内

平成12年から始まったこの会も早いもので17回目となりました。
今回は久々に会の名称どおりの29日開催です。楽しく飲んで気さくに語り合える会です。
初めての方、他支部の方、企業の方、気軽にご参加下さい。
会場の都合がありますので参加希望者は事前にご連絡願います。

日　時：平成20年２月29日（金）19：00から21：30まで
場　所：なんば“道頓堀ホテル”　TEL：06－6213－9040
参加費：技師 4,000円、企業会員 5,000円（当日、会場にて徴収します）

■ 問合わせ先（自由集会・29の会共に）
　南支部長　中江 健市（近畿大学医学部附属病院 中央臨床検査部）
　TEL：072－366－0221（内線 2183）　E-mail：nakae@kensa.med.kindai.ac.jp

第２８回　ほんわかボランティア

❑❑❑　冬季　献血推進活動のご案内　❑❑❑

会員の皆様、また寒い冬の季節がやってきました。
毎年この時期、献血数の減少により血液製剤の適正在庫の確保が困難になっております。
このような時期にこそ、医療に関わる我々が率先して献血に関わるべきであると
スタートした献血ボランティア、今年度は２回の実施で、その２回目です。
今回も自らが献血できる方はもちろん、献血はできないけれど
市民の方への呼びかけを手伝ってくれる方など多くの会員の方のご参加をお待ちしています。
各種会合・お待ち合わせなどの時間まで、ミナミでみんなで活動しませんか？
大臨技にとって重要な公益事業です。役員をはじめ各部会世話人の皆様、
一般会員・賛助会員の皆様、ぜひご参加ください！！

- 日　　時：平成20年２月16日（土）10：00〜16：00
- 場　　所：難波グリーンガーデン（南海難波駅北すぐ）
- 活動内容：献血への協力・市民への呼びかけ
  （献血キャンペーンティッシュの配布をします。
  午前or午後のみの活動参加でもOKです。）
- 連 絡 先：多根総合病院　竹浦 久司
  E-mail：q_take@tane.or.jp

学術部 チーム医療部門糖尿病療養指導部会からのお知らせ

第１２回　糖尿病療養指導士講演会

テーマ：糖尿病と歯科領域の合併症
「なくしてからでは遅すぎる！予防で守ろう自分の歯」

日　時：平成20年２月17日（日）
12：20〜16：00（11：50より受付）
会　場：エル・おおさか（大阪府立労働センター）南ホール
※会場までの地図は６ページを参照してください。
評価点：日臨技生涯教育登録 A−15点
（会員証をお持ちください）
★日本糖尿病療養指導士認定のための更新単位第Ⅱ群、第Ⅰ群いずれか１単位申請可能です（申請には登録番号が必要のため必ずお持ちください）
参加費：技師会会員（その他各種職種の学会会員）
500円
非　会　員 3,000円
共　催：三光純薬株式会社
連絡先：大阪赤十字病院 検査部　山下 己紀子
E-mail：yamashita.osaka.red@apost.plala.or.jp

プログラム

12：20〜12：30　開会挨拶
大阪府臨床検査技師会 会長　森嶋 祥之

12：30〜14：00　講演１部
1．歯科・口腔外科領域の感染症と微生物検査
講師：国立病院機構大阪医療センター 臨床研究部
微生物検査　佐子 肇
2．糖尿病患者への口腔衛生指導について
講師：㈶サンスター歯科保健振興財団附属千里歯科診療所
副衛生士長　加茂 聡子

14：00〜14：10　血糖測定関連機器のご紹介
三光純薬株式会社

14：10〜14：20　休　　憩

14：20〜15：50　講演２部
座　　長：森嶋 祥之
特別講演「お口の病気と糖尿病の不思議な関係」
講　　師：㈶サンスター歯科保健振興財団附属千里歯科診療所
歯科医師　梶原 定江

第20回 近畿臨床検査技師会免疫血清検査研修会のご案内

❑ テ ー マ：臓器と語る～肝臓～臨床検査を予測しよう！
❑ 日　　時：平成20年３月15日（土）13：00～３月16日（日）12：00
❑ 会　　場：和歌山マリーナシティ ロイヤルパインズホテル
〒641-0014　和歌山市毛見1517番地
TEL：073－448－1120
❑ 募集人員：100名
❑ 受講料及び宿泊費：

２日参加宿泊あり	19,000円（参加費、テキスト代、夕食会費含む）
１日参加のみ	4,000円（参加費、テキスト代含む）
２日参加のみ	7,000円（参加費、テキスト代含む）
夕食会参加のみ	5,000円

❑ 申込締切：平成20年２月15日（金）
❑ 担 当 者：和歌山県臨床衛生検査技師会 感染免疫部門長
済生会和歌山病院 臨床検査科　久保 光史
〒640-8158　和歌山市十二番丁45
TEL：073－424－9805　FAX：073－424－9806
❑ 責 任 者：福井市医師会臨床検査センター　岩佐 玲子
TEL：0776－22－8467　FAX：0776－24－6099
❑ 主　　催：近畿臨床検査技師会
❑ 生涯教育：臨床専門 C－20
❑ 申込方法：**FAXまたはメールで必要事項をお送り下さい。**
申込後、受講料及び宿泊費をお振込み下さい。
❑ 申 込 先：和歌山市医師会成人病センター 検査科　福井 淳代
〒640-8319　和歌山市手平２－１－２
TEL：073－435－5197　FAX：073－435－5203
E-mail：mnfyajka-bdia-b@kfa.biglobe.ne.jp
❑ 振 込 先：**三井住友銀行　和歌山支店　店番号542**
普通預金　口座番号6984624　フクイアツヨ　福井淳代

＊なお振込み確認をもって受講通知書を郵送いたします。領収書は研修会当日にお渡しいたします。

研修会プログラム

❑ 平成20年３月15日（土）

13：00～13：45　受　付
13：45～14：00　開講式
14：00～15：00
『免疫血清の精度管理を語る』
～2007年日臨技精度管理報告を含めて～
天理よろづ相談所病院　河野 久
15：10～16：10
『B型肝炎ウイルスの遺伝子検査』
独立行政法人 国立病院機構九州医療センター 臨床検査部 遺伝子検査室 肝臓病センター　藤野 達也
16：20～17：20
『血漿蛋白の今昔物語』
長野市民病院　亀子 光明
18：00　夕食会

❑ 平成20年３月16日（日）

9：00～10：40
『臨床検査を予測しよう！』
『症例１　HBV』
島根医科大学附属病院　柴田 宏
『症例２　HCV』
京都市立病院　大西 重樹
『症例３　HIV』
大阪医科大学附属病院　上田 一仁
『予測する臨床検査のコツ～検査値と語る～』
済生会和歌山病院　田中 久晴
10：50～11：50
肝臓と語る～臨床医の視点から～
高松診療所　高松 正剛
11：50～12：00　閉講式

切り取り線

第20回近畿臨床検査技師会免疫血清検査研修会　受講申込書

FAX送付先：073-435-5203

和歌山市医師会成人病センター　検査科　福井淳代　宛

フリガナ 氏　名			性　別	男　・　女	
施設名			会員番号		
施設住所	〒　　－ TEL：　　（内線　　）　FAX：				
所属技師会	大阪　京都　滋賀　奈良　兵庫　福井　和歌山　その他（　　）				
受講日	両日参加 3／15のみ 3／16のみ	夕食参加	参　加 不参加	宿　泊	宿泊する 宿泊しない

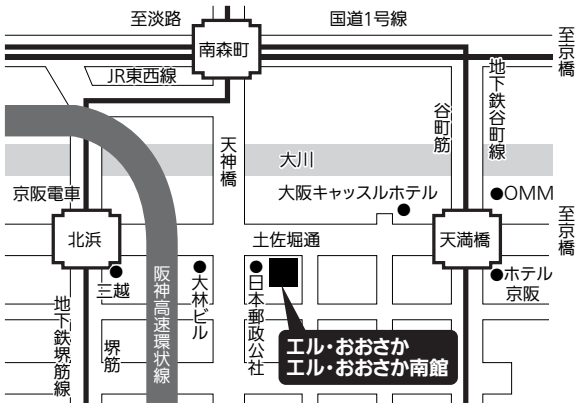
学術部 一般検査部門からのお知らせ

一般検査部門研修会

「より良い一般検査のためにーその3」

今年度後半の一般検査部門研修会は「より良い一般検査のために」をテーマに開催しています。
今年度を締めくくる第３回目は尿沈渣検査に関しての理解をさらに深める研修会です。
初心者からベテランまで多くの方のご参加を心よりお待ちしております。

日　時：平成20年２月８日（金）18：30〜20：00
場　所：エル・おおさか（大阪府立労働センター）南ホール
（地下鉄谷町線・京阪電鉄「天満橋」駅下車（地図参照））
内　容：尿沈渣鏡検のちょっとレベルアップを目指して
「小型の細胞と集塊状の細胞の鑑別方法」
講　師：東京大学医学部附属病院 検査部 主任技師　宿谷 賢一
共　催：栄研化学株式会社
評価点：C−10点（会員証をお持ちください）
参加費：技師会員（賛助・申請中を含む）　500円
非 会 員　3,000円
連絡先：市立吹田市民病院 臨床病理部　佐々木 正義
E-mail：makko@abox4.so-net.ne.jp

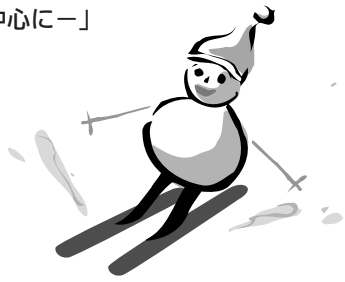


学術部 微生物検査部門からのお知らせ

微生物検査部門　定期講習会

この十年ほどの間に、外来感染症における耐性菌の増加には著しいものがある。
ペニシリン耐性肺炎球菌や耐性インフルエンザ菌そしてキノロン耐性淋菌の増加に止まらず、
今や小児のとびひの30%はMRSA感染であり、
さらにはキノロン耐性肺炎球菌も出現して、臨床上の大きな問題となっています。
そして多くの研究により、これら耐性菌の増加には抗菌薬の過剰投与が関与していることは明らかです。
しかし今後、耐性菌に有効な“スーパー抗菌薬”が開発される期待は低く、
よって我々臨床医は現在ある抗菌薬を、今まで以上に上手く使っていくことが求められています。
地球環境を守るためには、まず自分の“ごみの分別”から始めることが大切であるように、
臨床医も「耐性菌を増やさない」という社会的責任を自覚し、今にも増して、
かぜ症候群や肺炎治療に際しては各種ガイドラインを遵守して、抗菌薬の適正使用を行うべきです。
当日はこの問題に関する、最近のトピックスについてもご紹介いただきます。
皆様奮ってご参加ください。

日　時：平成20年２月16日（土）14：45〜16：30
場　所：あべのメディックス ６階ホール
テーマ：「外来呼吸器感染症の抗菌薬治療ーガイドラインと適正治療を中心にー」
講　師：中浜医院 院長・大阪大学微生物病研究所 非常勤講師　中浜 力
評価点：C−10点（会員証をお持ちください）
参加費：会員 500円、非会員 3,000円
共　催：ファイザー株式会社
連絡先：財団法人阪大微生物病研究会　坂本 雅子
E-mail：msakamoto@mail.biken.or.jp



学術部 臨床化学検査部門からのお知らせ

第４回 近臨技臨床化学検査実技研修会のご案内

日臨技研修 基礎教科－20点

日　時：平成20年３月23日（日）
　　受付８：30から／研修会９：00～17：00
会　場：京都保健衛生専門学校
　　〒602-8155 京都市上京区千本通竹屋町東入主税町910
　　TEL：075－801－2571
内　容：今日の生化学検査において必要と思われる基本技術習得を目的として実技研修を実施します。今回は、NADHのモル吸光係数を算出し、そのモル吸光係数を用いる方法および標準液を用いる方法にて尿素窒素濃度を求めます。市販キットを用いず、自分で尿素窒素測定用試薬（ウレアーゼ／GLDH法）を試料量、試薬量および試薬最終濃度等を考慮して調製・測定します。
参加費：3,000円（受講料は当日受付にてお支払いください。昼食代は含みません）
申込み方法：申込み先メールアドレス宛に、**府県名、施設名、会員番号、氏名、性別**を記入して送信。
申込み先：株式会社ファルコバイオシステムズ総合研究所　藤本 一満
　　E-mail：k-fujimoto@mail.falco.co.jp
　　TEL：0774－46－2109
申込み締切：平成20年２月29日（金）
連絡先：近畿大学医学部附属病院 中央臨床検査部　増田 詩織
　　E-mail：shiori-m@kensa.med.kindai.ac.jp

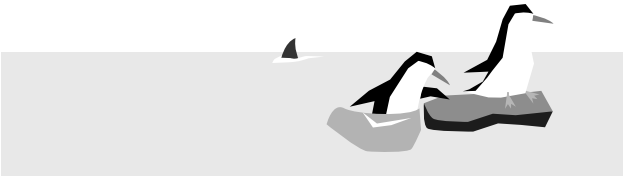
第２２回　大阪病理技術研究会

テーマ：「病理検査を取り巻く諸問題と病理技術の向上をめざして」

本年度も大阪病理技術研究会を以下のとおり実施します。
多数のご参加お待ちしております。
例年通り、懇親会を行います。こちらにもぜひご参加ください。

日　時：平成20年２月16日（土）13：00～18：00
場　所：(財)住友病院 14階講堂
　　大阪市北区中之島５－３－10
　　TEL：06－6443－1261
　　（交通アクセス）JR東西線 新福島駅、JR環状線・阪神電車福島駅→徒歩13～15分など詳しくは連絡先にお問い合わせください。
内　容：
1．ホルマリンの使用状況に関するアンケート報告　講師：市立豊中病院　狩森 基更
2．ホルマリンとキシレンの作業環境管理　講師：京都市立病院　川辺 民昭
3．日本臨床病理検査支援システムの紹介と今後の構築について　講師：(株)日本医学臨床検査研究所　小川 修平
4．ゼラチン液を用いた尿細胞診検体処理の検討　講師：大阪市立大学医学部附属病院　佐々木 政臣
5．病理分野におけるFISH法の臨床応用例　講師：アボットジャパン株式会社　植田 仁志
6．病理検査のちょっとした工夫　講師：日本病理学研究所　造酒 仁志
7．細胞診過去標本の再染色性改善法　講師：大阪鉄道病院　熊取屋 理加
8．超音波を用いた迅速脱灰・脱脂・固定装置Histra－DCの検討　講師：株式会社協同病理　山田 寛
9．薄切におけるチャタリングの原因と対策　講師：大和工機　仲谷 信昭

評価点：C－15点（会員証をお持ちください）
参加費：会員 1,000円、非会員 3,000円
連絡先：大阪厚生年金病院　高田 直樹
　　TEL：06－6441－5451（内線 2105）
　　E-mail：ct-naoki@sc4.so-net.ne.jp



Impressions & Report・Impressions & Report・Impressions & Report・Impressions & Report・Impressions & Report・Impressions &

手話講演会開催される

大臨技 渉外部 北川 篤

昨年12月1日、天王寺区民センターにて大臨技渉外部による手話講演会が開催されました。講演会は二部構成で、第一部は『コミュニケーションの実際』。ろうあの患者様が病院へ来られた場合を想定した寸劇が行われ、更にそれらの事例についての検討が加えられました。第二部では大阪警察病院の赤木征宏さんによる手話講座が行われ、簡単な挨拶や自己紹介から現場で使えるような手話の紹介がありました。フロア・講師間において、活発な意見交換が行われ、非常に有意義な場となりました。今回、ろうあの方にも参加いただきました。いろいろなご意見をうかがうことができ、とても参考になりました。また、「ろうあ者だけでなく、いろいろな身体障害者に対応できるような講演会も開催すべき」という貴重なご意見もいただきました。この点については、手話講演会は継続開催しつつ、さらに検討していくべき問題であると考えます。以下はご参加いただいたろうあの方の感想です。

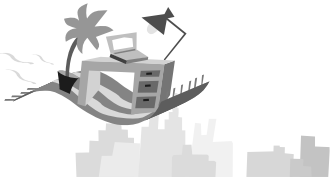
「手話講習会の参加者が少なくて寂しかったです。寸劇はもう少しわかりやすく表現して欲しかった。手話講座の赤木さんの講演がわかりやすくて良かった。参加者の中に「障害者問題について取り上げるのが、ろうあ者だけではおかしい」と言っていましたが、私が思うには、全体の障害者問題を取り組むのは幅が広いし、なかなかむずかしいと思います。車椅子、視力障害者、肢体不自由、介護支援等、それぞれのボランティアがあります。だから、見ただけでは分からないろうあ者にしぼった講習でも良いと思います。（四條畷保健所 勤務 江川 隆幸）」

impressions & Report・impressions & Report・impressions & Report・impressions & Report・impressions & Report・

がんばっています！ 私の放送大学ライフ

大阪府済生会野江病院 小椋 聖子

私が放送大学で学び始めてちょうど10年になります。最初の7年間は興味を持った内容の科目を半年に4つ5つ選び、学んでいました。‘学んでいた’というといかにも勉強していたかのようですが、試験直前に教科書を必死に読むというのが実際のところでした。「来学期こそ真面目に勉強するぞ」と試験が終わるたびに心に誓っていました。8年目は臨床検査技師学校で取得した単位数を加算し、全科履修生として第3学年に編入しました。技師学校の単位数は学位取得に必要な単位数の約半分に相当し、放送大学の7年間で取得した単位数も十分ありましたので、楽に卒業できる予定でした。ところが、この7年間、一貫性なく、自分の興味だけで受講科目を選択していたため、卒業に必要な科目による単位数が足らず、『これが不合格なら今期の卒業見送り』となる崖っぷち状態を経験しました。これから入学、編入される方は受講科目の選択にご注意ください（笑）。こんな私ですが、昨年、上司の勧めもあり、放送大学大学院へ進学しました。通信課題の提出、単位認定試験に加え、研究レポートの作成、実験や調査の実施、論文執筆が課せられ、これまでとは違った苦労を味わった10年目でした。レポートの作成や研究の進め方では上司にご指導を頂き、検体の確保、データの収集では職場の方々にご協力をいただいています。また各地から集まった臨床検査技師、薬剤師、作業療法士、歯科衛生士のゼミ仲間とはお互いの研究テーマについて討論し、貴重な意見を頂いています。自分の時間をやりくりすることでそれなりの結果が得られた大学時代とは違い、周囲の方々のご理解とご協力があってこそ成り立つ大学院生活を実感しています。うまくいけば修士課程が修了となる11年目の今年度は、余裕を持って学生生活を終えることができるよう頑張ろうと思っています。今のところは。



放送大学とは、1981年公布の「放送大学学園法」に基づく正規の大学です。全国に50の学習センターがあり、どこでも利用できます。現在、全国で約10万人の学生が学んでいます。学士（教養）号取得を目的としない選科・科目履修生として、興味ある１科目からでも学べます。入学のチャンスは年2回（4月と10月）あります。さらに、放送大学の特色を生かし、社会的要請の強い高度専門職業人の育成などを目指した通信制大学院を平成13年4月に開設し、平成14年4月から学生の受入れを行っています。「放送大学を利用してあなたも学士号を」教養学部・放送大学大学院（修士科目生）学生募集についての詳しい情報は、放送大学ホームページhttp://www.u-air.ac.jpの［大学からのお知らせ］をご覧ください！

平成20年度 会費納入のお願い

平成20年度会費納入の時期となりました。会費は前納制をとっています。

継続の方で未納入の方は会誌「医学検査」が中断されますので念のため、ご案内いたします。

平成20年度会費

	納入金額
① 日本臨床衛生検査技師会	10,000円
② 大阪府臨床衛生検査技師会	4,700円
③ 近畿臨床衛生検査技師会	300円
合　計	15,000円

会費領収書について

原則として領収書の発行は行いません。郵便振込みの際に渡される半券の領収書をもって大臨技会費領収書とさせていただいています。従前のような手書きの領収書を特に必要とされる方は別途大臨技事務所へご依頼ください。

○新入会員の方は、入会金6,500円（日臨技2,000円、大臨技4,500円）が加算されますので、合計21,500円となります。

○なるべく施設毎にまとめてお振込みください。

○納入の際は必ず施設名と会員番号をご記入ください。

○会員の「継続」「入会」「異動」などの届出は、日臨技ホームページのJAMTIS、または所定用紙の郵送でお願いします。TEL、FAXでの届出はご遠慮ください。なお、JAMTISによる届出方法に関する詳細、所定の郵送用届出用紙の綴じ込みは、会誌「医学検査2008年１月号Vol.57、No.１」に掲載されています。届出用紙については、日臨技ホームページからでも入手できます。

★注意★

郵送による届出先はすべて「大臨技事務所」あてにお願いします。特に住所変更については、必ず届出をしてください。

Cool Down

～ 温泉三昧 ～

寒い。冬真っ只中なので当然なのだが朝晩が特に冷える。仕事が遅く終わった時など早くお風呂に入って温まりたいがなぜか家の風呂は寒い。入ってしまえば大丈夫なのだが入るまでが億劫なのだ。スポーツクラブに通っているので、時間が無い時はお風呂だけ利用するお風呂会員になることもしばしばあるが、やっぱり家風呂とは違ってああいう大きなお風呂は身体の芯から温まるような気がする。もう最近は家でお風呂に入っていないことの方が多いくらいだ。毎年大晦日は大掃除をした後、近所の健康ランドみたいな天然露天温泉で１年の垢を落とすのが恒例となっている。そこにはいろんな種類のお風呂があってジェットバスなんて本当に気持ちいいし健康ランドとはいえ露天風呂は特にいい。2007年の大晦日も露天風呂へと行ってみたら天井近くにテレビが設置されており、みんなK-1を観ながらのんびり湯に浸かっている。が、その日は非常に寒かった。強風が吹き続け、突風が吹いた時などは吹き出し口からの熱めのお湯が風に煽られ私の顔にビチャっと不意にかかって「ぅあちぃ!!」となる。そんなことも楽しみながら毎年１年を締めくくっている。本当は○○温泉みたいなところに行って温泉入る→カニ食べる→また温泉みたいなことができれば嬉しいんですけど。そしていつかはおサルさんと一緒に湯船に浸かってみたいですね。ジェットバス一緒に入ってとは言わないから。　［今田晶子］

皆さんのご意見、情報等お待ちしております。

FAX：06-6644-1128　E-mail：imai@osaka-amt.or.jp

郵送の場合は大臨技事務所までご送付下さい。

３月号の原稿〆切は２月３日（日）、４月号は３月４日（火）です。

2008 2月 大臨技行事予定表

研修A＝日臨技生涯教育点数A
研修B＝日臨技生涯教育点数B
研修C＝日臨技生涯教育点数C

1 金

研修B-10 チーム医療部門 ICT部会講演会
「耐性菌検査を見直そう！
MRSA＆MDRP＆VRE＆ESBL＆PRSP＆BLNAR」
講師：部会世話人
場所：スカイバンケット 阪急ターミナルスクエア・17 ふじの間
時間：18：30〜20：00
会員参加費：500円
連絡先(E-mail)：関西医科大学附属枚方病院 中村 竜也
(nakamurt@hirakata.kmu.ac.jp)

2 土

研修A-10 第22回 中央支部自由集会
1部：特別講演会「臨床検査技師の未来への提言」
講師：日本臨床検査技師会副会長 朝山 均
司会：中央支部副支部長 南大阪病院 桑山 和哉
2部：パネルディスカッション
「これからの臨床検査技師の役割あれこれ」
パネリスト：北 支 部 長 国立循環器病センター 米田 孝司
南 支 部 長 近畿大学医学部附属病院 中江 健市
中央支部長 竹村医学研究会小阪産病院 栗本 幸司
司会：技師会地区事業担当理事 育和会記念病院 田畑 泰弘
場所：あべのメディックス 6階ホール
時間：15：00〜17：00(14：30受付開始)
会員参加費：500円
連絡先(E-mail)：小阪産病院 栗本 幸司（kuri@kosaka-amt.or.jp）

3 日

2008年3月行事予定・大臨技ニュース締め切り

4 月

5 火

★講演会・講習会参加時は必ず会員証をご持参ください★

6 水

7 木

研修C-10 血液検査部門 「形態セミナー シニア」（正会員＋オブザーバー）
場所：あべのメディックス 6階ホール
時間：18：30〜20：00
会員(オブザーバー)参加費：500円
連絡先(E-mail)：松下記念病院 村瀬 幸生
(murase.yukio@jp.panasonic.com)

8 金

研修C-10 一般検査部門 講習会
「より良い一般検査のためにーその3」
尿沈渣鏡検のちょっとレベルアップを目指して
「小型の細胞と集塊状の細胞の鑑別方法」
講師：東京大学医学部附属病院 検査部 主任技師 宿谷 賢一
場所：エル・おおさか 南ホール
時間：18：30〜20：00
会員参加費：500円
連絡先(E-mail)：市立吹田市民病院 佐々木 正義
(makko@abox4.so-net.ne.jp)

9 土

日臨技 総合管理部門研修会【事前申込み制】
21世紀を担う臨床検査技師セミナー2007
ーチーム医療と経営管理の実践が医療の質に影響を及ぼすー
場所：JICA大阪国際センター

10 日

近臨技 チーム医療推進委員会主催研修会【事前申込み制】
21世紀を担う臨床検査技師セミナー2007・大阪
ーチーム医療と職域拡大に如何に取り組むかー
場所：JICA大阪国際センター
第18回 生物試料分析科学会学術集会
「原点に立ち返ってChallengeをー新たなBio-Analisisの開拓ー」
場所：新梅田研修センター

11 月

第18回 生物試料分析科学会学術集会
「原点に立ち返ってChallengeをー新たなBio-Analisisの開拓ー」
場所：新梅田研修センター

12 火

13 水

14 木

15 金

16 土

研修B-10 献血ボランティア
場所：難波グリーンガーデン（高島屋前）
時間：10：00〜16：00
連絡先(E-mail)：多根総合病院 竹浦 久司（q_take@tane.or.jp）

研修B-10 第22回 北支部自由集会
「輸血の安全性と迅速性の追求
ー緊急事態時に臨床の求めている輸血とはー」
司会：大阪府三島救命救急センター 竹下 仁、淀川キリスト教病院 竹山 佳織
1.「輸血検査の精度管理について」
講師：オーソ・クリニカル・ダイアグノスティック株式会社 テクニカルサービスセンターIH 古杉 光明
2.「輸血装置バイオビューおよびゲルステーションの使用経験」
講師：大阪医科大学附属病院 輸血室 志磨 美緒
大阪大学医学部附属病院 輸血部 永峰 啓丞
3.「医療現場の医師から見た輸血の実情と検査室に求めるもの」
講師：大阪府三島救命救急センター 救急科 福田 真樹子
場所：大阪医科大学 講義・実習棟2階第1講堂(学1講堂)
時間：15：30〜18：00
会員参加費：500円
連絡先(E-mail)：国立循環器病センター 米田 孝司
(kyoneda@hsp.ncvc.go.jp)

16 土

第24回 技師長会「医療の将来性を考える」
「医療制度改革の方向性と今後の検査室運営について」
講師：みずほ証券株式会社 エクイティ調査部 シニアアナリスト 渡辺 英克
場所：大阪府立成人病センター 本館6階講堂 時間：15：00〜17：00
会員参加費：1,000円
連絡先(TEL)：大阪府立成人病センター 井戸田 篤（06-6972-1181）

研修C-10 微生物検査部門 定期講習会
「外来呼吸器感染症の抗菌薬治療
ーガイドラインと適正治療を中心にー」
講師：中浜医院 院長・大阪大学微生物病研究所 非常勤講師 中浜 力
場所：あべのメディックス 6階ホール 時間：14：45〜16：30
会員参加費：500円
連絡先(E-mail)：(財)阪大微生物研究会 坂本 雅子（msakamoto@mail.biken.or.jp）

研修C-15 病理細胞検査部門 「第22回大阪病理技術研究会」
「病理検査を取り巻く諸問題と病理技術の向上をめざして」
場所：(財)住友病院 時間：13：00〜18：00
会員参加費：1,000円
連絡先(E-mail)：大阪厚生年金病院 高田 直樹（ct-naoki@sc4.so-net.ne.jp）

研修C-20 第12回 近臨技臨床化学検査研修会【事前申し込み制】
場所：ひょうご共済会館

17 日

研修A-15 チーム医療部門 糖尿病療養指導部会
第12回 糖尿病療養指導士講演会 糖尿病と歯科領域の合併症
「なくしてからでは遅すぎる！予防で守ろう自分の歯」
第1部 1. 歯科・口腔外科領域の感染症と微生物検査
講師：国立病院機構 大阪医療センター臨床研究部 微生物検査 佐子 肇
2. 糖尿病患者への口腔衛生指導について
講師：(財)サンスター歯科保健振興財団 附属千里歯科診療所
副衛生士長 加茂 聡子
血糖測定関連機器の紹介 三光純薬株式会社
第2部 特別講演「お口の病気と糖尿病の不思議な関係」
講師：(財)サンスター歯科保健振興財団 附属千里歯科診療所
歯科医師 梶原 定江
時間：12：20〜16：00（11：50より受付開始） 場所：エル・おおさか 南ホール
会員参加費：500円
連絡先(E-mail)：大阪赤十字病院 山下 己紀子（yamashita.osaka.red@apost.plala.or.jp）

研修C-20 第12回 近臨技臨床化学検査研修会【事前申し込み制】
場所：ひょうご共済会館

18 月

19 火

渉外部会
場所：大臨技事務所 時間：19：00〜20：30

20 水

研修C-10 生理機能検査部門 大阪超音波研究会 緑色グループ発表
テーマ：『腎臓PART II 高血圧とその変化』
担当：PL病院 森 雅美、長吉総合病院 中西 美紀
場所：住友病院 14階講堂 時間：18：30〜20：15
参加費：年会費2,000円（1回のみ500円）
連絡先(E-mail)：住友病院 尾羽根 範員
(obane-norikazu@sumitomo-hp.or.jp)

総務部会
場所：大臨技事務所 時間：19：00〜20：30

21 木

地区事業部会
場所：大臨技事務所 時間：19：00〜20：30
情報組織部会
場所：大臨技事務所 時間：19：00〜20：30

22 金

23 土

研修C-15 輸血検査部門「平成19年度輸血セミナー2008」
場所：大阪市立総合医療センター さくらホール
時間：10：00〜16：10（9：30より受付開始）
会員参加費：3,000円
連絡先(E-mail)：大阪船員保険病院 林 恵美子（emiko_hayashi@sempos.or.jp）

24 日

25 月

26 火

27 水

研修A-10 第22回 大臨技南支部自由集会
「検査技師に必要な医療制度改革とデータ共有化事業の基礎知識」
1.「知ってて絶対損しない医療制度改革・診療報酬改定のポイント」
ー 特定健診、診療報酬改定、臨床検査科の標榜を中心に ー
講師：デイドベーリング株式会社 ヘルスケアソリューショングループ
マネージャー 松尾 久昭
2.「データ共有化事業の基礎知識、共有化って何ですか？」
ー 大阪府におけるデータ共有化事業の現状と今後の展望 ー
講師：松下記念病院 中央臨床検査部 中島 康仁
場所：市立岸和田市民病院 3階講堂 時間：18：30〜20：30
会員参加費：500円
連絡先(E-mail)：近畿大学医学部附属病院 中江 健市
(nakae@kensa.med.kindai.ac.jp)

常務理事会
場所：大臨技事務所 時間：19：00〜20：30

28 木

29 金

★5年間で **基礎教科(60点以上)＋専門教科(140点以上)＝合計200点以上** 取得を目指しましょう！ 取得者には日臨技より「修了証書」が送付されます。

平成19年度分より日臨技生涯教育制度が変更されていますが、現在大臨技では旧制度での表示となっております。
体制が整い次第、新制度による点数表示を開始します。（換算例：A－10点およびB－10点→基礎教科－20点 C－10点→専門教科－20点）

携帯からでも行事予定表を見ることができます！ アドレスはこちら。http://www.osaka-amt.or.jp/

alfresa アルフレッサ株式会社
代表取締役社長 石 黒 傳 六
門真事業所 〒571-0044 大阪府門真市松生町4番6号 ☎06−6909−7284 Fax.06−6909−7295